

主要産地における平成28年産水稲の生育状況等について 第1報 (5月23日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成28年5月24日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(育苗・田植)	<p>(全道) 生育は平年並 (早2日)。移植作業は平年並に始まっている (早1日)。雪解けも速く、気温も高く推移したことから、農作業・生育は順調に進んでいる。(北海道農政課 5月15日現在)</p> <p>(空知) 苗の生育は順調 (早2日)。(空知総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(石狩) 生育は順調、一部で移植が始まっている (早3日)。(石狩総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(後志) 苗の生育は平年より1日程度早い、移植が始まり、移植の進捗率は1% (早2日)。(後志総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(胆振) 苗の生育は平年並。(胆振総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(日高) 苗の生育は平年並 (早1日)。(日高総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(渡島) 苗の生育は平年並に推移 (早2日)。(渡島総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(檜山) 苗の生育は平年並 (早1日)。(檜山振興局 5月15日現在)</p> <p>(上川) は種や耕起が平年並に進み、生育も平年並に推移している。(早1日)。(上川総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(留萌) 生育は順調 (早3日)。出芽期は4月24日。一部で移植作業が始まった。(留萌振興局 5月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年並 (早1日)。出芽期は4月26日 (オホーツク総合振興局 5月15日現在)</p>	<p>5月のばか苗病の発生量は平年並、苗立枯病・褐色病の発生量はやや少ない、苗立枯病の発生量はやや少ない、ヒメトビウンカの発生期はやや早く発生量は並、イネミギワエの発生期はやや早く発生量はやや多いと予報</p> <p>イネドロオイムシに対する薬剤の選択に注意するよう指導 (北海道病害虫防除所 4月27日公表)</p>
青森	(育苗・田植)	<p>5月15日現在の田植進捗状況は、県全体で9%となっており、平年より1ポイント高かった。県全体の田植始めは、平年並の5月15日であった。</p> <p><地区別進捗状況> (東青) 3% (中青) 5% (西北) 11% (北北) 14% (北下) 1% (三八) 5% (青森県 5月17日付)</p> <p>田植は5月25日までに終了するよう指導 (青森県 5月6日付)</p> <p>黒石の「つがるロマン」の出芽期は4月20日、出芽期までの日数は5日で平年より2日早く、「晴天の霹靂」も出芽期は4月20日、出芽期までの日数は5日であった、十和田の「まっしぐら」の出芽期は4月15日、出芽期までの日数は4日で平年より2日早かった。(青森県産産技術センター農林総合研究所 4月22日付)</p>	<p>5月のフザリウム・ビシウム属による苗立枯病は少ない、細菌性の苗立枯病はやや少ない、ばか苗病はやや少ないと予想</p> <p>イネミズゾウムシはやや多い、イネドロオイムシは平年並と予想。(青森県病害虫防除所 4月27日公表)</p>
岩手	(田植)	<p>5月20日現在、県全体の田植進捗率は70%。田植盛期は5月17日頃と見込まれ、平年並み。地域別の田植進捗率は、北上川下流では81%と田植最終期に近づいている。東部は73%、北上川上流は52%で田植盛期を迎え、北部は10%で田植開始期を迎えている。各地域とも順調に田植が行われており、適期内 (5月15日～25日) には終期を迎えると見込まれる。(中央農業改良普及センター県域普及グループ 5月20日付)</p>	<p>5月のみ枯菌病と苗立枯菌病の発生量は平年並、苗立枯病の発生量はやや少、ばか苗病と苗立ち病の発生量は平年並、イネミズゾウムシとイネドロオイムシの発生量はやや少の予報 (岩手県病害虫防除所 4月27日公表)</p>
宮城	(田植)	<p>5月19日現在、県全体の田植進捗率は89.2%であり、ほぼ平年並みで推移している。</p> <p><地区別進捗状況> (大河原) 90.7% (仙台) 87.3% (大崎) 91.3% (栗原) 88.0% (登米) 85.0% (石巻) 94.2% (気仙沼) 79.4% (宮城県 5月23日付)</p>	<p>イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオイムシの発生量は平年並の予報。(宮城県病害虫防除所 5月20日公表)</p>
秋田	(田植)	<p>(鹿角) 水稲作業状況は、移植作業は5月16日に始期を迎えた。平年よりやや早く進捗している。(5月20日付)</p> <p>(山本) 5月15日現在、本田の田植作業の進捗状況は12.2% (平年：8.6%)。(5月20日付)</p> <p>(秋田) 耕起作業の終期 (進捗率95%) は平年と同じ5月6日となり、作業はほぼ終了している。田植作業が始まっており、5月10日現在の進捗率は3.6% (平年2.9%) となっている。(5月13日付)</p> <p>(由利) 5月15日現在、耕起作業の進捗率は98%、田植作業の進捗率は41%となっている。耕起作業の終期は平年より1日遅い5月15日、田植作業の盛期は平年より1日早い5月17日となった。(5月23日付)</p> <p>(仙北) 耕起作業は5月10日現在で83.5% (平年83.1%) の進捗となっている。4月下旬の降雨等により、耕起作業に若干遅れが見られたものの、作業は概ね順調に進んでいる。直播栽培の播種作業は今週末に盛期を迎える見込み。(5月13日付)</p> <p>(平鹿) 移植作業の始期は5月20日、平年より1日遅くなっている。(5月20日付)</p> <p>直播栽培の播種作業が5月10日から始まっており、5月20日頃まで順次播種される予定。(5月13日付)</p> <p>(雄勝) 耕起作業の終期は、5月14日で平年より2日早くなった。田植作業が始まった。(5月20日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>5月の苗立ち病の発生量は平年並、苗立枯病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は多い、イネドロオイムシの発生量は少ない、イネミギワエの発生量はやや多い、フタオビコヤガの発生量はやや少ない、イネキモグリバエの発生量は平年並の予報 (秋田県病害虫防除所 4月22日公表)</p>
山形	(田植)	<p>(鶴岡田川) 育苗期間中、気温の変動は大きかったものの日照があり、概ね健苗育成が図られた。(庄内総合支庁農業技術普及課 5月23日付)</p> <p>(東南村山) 今年も高温基調であり雑草の発生と生育が早まると見込まれるため、除草剤は遅れずに散布するよう指導。(5月19日付)</p> <p>田植は5月25日頃を境に、できるだけ好天の日を選んで行うよう指導。(5月11日付)</p> <p>(村山総合支庁農業技術普及課)</p> <p>(西村山) 田植は適期は、5月25日頃までを目安と指導。(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日付)</p> <p>(置賜) 気温の高い日が続くと予想され、苗焼けや苗の伸びすぎないよう温度管理を指導。田植の適期は5月15日～20日頃。つや姫の田植は5月20日まで。(置賜総合支庁 5月6日付)</p> <p>(最上) 活着・初期生育を良くするため、2～3日程度好天が続く日を選んで田植を行うよう指導。(5月17日付)</p> <p>融雪が早く、「つや姫」の播種等の春作業は順調に進んでいる。移植適期は、中苗移植で5月15日前後。(4月22日付)</p> <p>(最上総合支庁農業技術普及課)</p>	<p>5月の苗立枯病の発生量は平年並の予報 (山形県病害虫防除所 4月27日公表)</p>
福島	(育苗・田植)	<p>移植栽培用の播種作業は、盛期が4月16日、終期が4月24日、それぞれ平年に比べ1日早まった。湛水直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まっている。移植栽培も、早いところでは4月下旬から田植が始まっている。(福島県農林水産部 5月12日付)</p>	<p>もみ枯菌病・苗立枯菌病の発生量はやや多い、苗立枯病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生期はやや早く発生量は平年並、イネヒメハモグリバエの発生量は平年並の予報 (福島県病害虫防除所 4月26日公表)</p>
茨城			<p>4月下旬現在、本田でのイネミズゾウムシの生息数が最高に達する時期は、県南・県西地域では5月中旬、県北・県央・鹿行地域で5月下旬～6月上旬と予測 (茨城県病害虫防除所 4月28日公表)</p> <p>イネ縞葉枯病 (ヒメトビウンカ) の注意報が発表された (農林水産省 4月19日付)</p>
栃木			<p>5月下旬～6月下旬の縞葉枯病の発生量はやや多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 5月20日公表)</p>
埼玉			<p>5月のイネ縞葉枯病の発生量は多い、苗立ち病の発生量は多い、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオイムシの発生量は多いと予報 (埼玉県病害虫防除所 4月28日公表)</p> <p>イネ縞葉枯病 (ヒメトビウンカ) の注意報が発表された (農林水産省 4月19日付)</p>
千葉			<p>向こう1か月間のいもち病の発生量は平年並、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ及びジャンボタニシの発生量はやや多いと予報 (千葉県農林総合研究センター 5月12日公表)</p>

生育状況等		
新潟	<p>・コシヒカリの移植は5月10日以降、多収性品種の新潟次郎やゆきんず舞等は、田植え時期を5月上旬とするよう指導。 (新潟県農林水産部 4月28日付)</p> <p>(田植) (上 越) コシヒカリは5月10日以降、早生品種は5月上旬の移植を目標にするよう指導。 (上越農業普及指導センター・上越地域農業振興協議会 4月20日付)</p>	<p>・5月のイネドロオウムシ及びイネミズゾウムシの発生量は平年並、発生時期はやや早い予報 (新潟県病害虫防除所 4月28日公表)</p>
富山		<p>・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシ及びイネゾウムシの発生量は少ないと予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月2日公表)</p>
石川	<p>・4月は気温が平年より高く、日照時間は平年並から多く経過したことから、苗の生育は概ね順調、田植え始期は、加賀地区で4月28日、能登地区で5月1日、田植盛期は、加賀地区で5月3日、能登地区で5月5日となり、県全体の田植盛期は5月4日と平年並で、前年に比べ1日遅くなった。生育は概ね順調。 草丈はコシヒカリで平年並、ゆめみづほは近年に比べやや短い。葉数展開は、平年並となっている。 分けつのは発生は、田植えの早い圃場(4月下旬～5月初旬)で確認されている。 (石川県農林水産部農林総合研究センター 5月18日調査)</p>	<p>・4月下旬～5月中旬のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並、イネヒメハモグリハエの発生量はやや少の予報 (石川県農林総合技術センター 4月21日公表)</p>
福井	<p>(育苗) ・ハナエチゼンの苗でヤケ苗が一部で発生している。(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 4月21日付)</p>	<p>・5月の苗いもち病の発生量は平年より少なく、イネミズゾウムシの発生量は平年並み、イネゾウムシの発生量は平年より少なく、イネヒメハモグリハエの発生量は平年より少ないとの予報 (福井県農業試験場 5月2日公表)</p>
長野		<p>・向こう1ヶ月間のニカメイチュウの発生量はやや少、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並～やや少の予報 (長野県病害虫防除所 5月16日公表)</p>
滋賀		<p>・ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並の予報 (滋賀県病害虫防除所 4月19日公表)</p>
兵庫	<p>(育苗) ・5月は気温が高くなると見込まれるため、苗の温度管理に留意するよう指導。また、苗いもちと苗立枯病の発生に留意するよう指導。(兵庫県農政環境部 5月2日付)</p>	<p>・5月の苗立枯病及びびばか苗病の発生量は平年並の予報 (兵庫県病害虫防除所 5月2日公表)</p>
岡山		<p>・5月の細菌性苗立枯病の発生量は平年並、綿葉枯病の発生量はやや少、萎縮病の発生量は平年並、ヒメトビウカ、ツマグロヨコバイの発生量は少、イネミズゾウムシの発生時期はやや早く発生量は平年並の予報 (岡山県 4月28日公表)</p>
広島		
山口		<p>・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並の予報 (山口県病害虫防除所 5月2日公表)</p>
愛媛	<p>(育苗) ・5月は普通期水稲の育苗が始まる。(愛媛県農林水産研究所 5月6日付)</p>	<p>・5月のいもち病(育苗～本田初期)の発生量はやや多、イネミズゾウムシの発生時期は早まると予報 (愛媛県病害虫防除所 4月28日公表)</p>
高知	<p>(田植) ・育苗後期の4月上旬が高温少照で経過したため、移植時の草丈は平年より長く、移植後の4月中旬以降は、天候に恵まれ、生育は順調に進んでいる。 5月10日現在、4月5日植え南国そだちは、平年より草丈はやや長く、葉数も多く、葉齢でみた生育進度はやや早くなっている。 コシヒカリは平年より草丈はやや長く、葉数も多く、生育進度はやや早くなっている。 4月14日植えコシヒカリの草丈は平年並みで、葉数が平年よりやや多く、生育進度は平年並み。 (高知県農業技術センター 5月12日付)</p>	<p>・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並と予報 (高知県病害虫防除所 5月10日公表)</p>
福岡	<p>(育苗・田植) ・早期水稲(夢つくし、コシヒカリ)田植えは4月10日ごろから始まり、4月下旬が最盛期で5月上旬ごろまで行われる。苗の生育は良好。(福岡県農林業総合試験場 平成28年4月15日専技情報より抜粋)</p>	
熊本		<p>・5月の早期水稲のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並の予報 (熊本県病害虫防除所 4月28日公表)</p>
宮崎		<p>・5月の早期水稲のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量はやや多、ジャンボタニシの発生量は平年並の予報 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 4月28日公表)</p>
鹿児島		<p>・5月の早期水稲のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並の予報。(鹿児島県病害虫防除所 4月27日公表)</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標					収穫量（主食用） 27年度	作況指数 27年度
		参考			参考			
		平成28年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（深堀）			
	t	t	%	t	t			
全 国	・5月21日～6月20日の1か月間の気温は高い見込み。東・西日本太平洋側、沖縄・奄美では、降水量は 平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。北日本、東日本日本海側では、日照時間は平年 並か多い見込み。（気象庁 5月19日発表）	7,430,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,350,000	7,442,000	104	
北 海 道	・北海道地方の5月21日～6月20日の1か月間は、期間のはじめは気温がかなり高くなり、向こう1か月の 平均気温は平年より高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 （札幌管区気象台 5月19日発表）	541,500	▲ 5,830	▲ 1.1	535,669	559,600	104	
青 森	・東北地方の5月21日～6月20日の1か月間は、期間のはじめは気温が高く、かなり高くなる日もあり、 向こう1か月の気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 （仙台管区気象台 5月19日発表）	239,877	▲ 2,583	▲ 1.1	237,294	229,800	105	
岩 手	同上（仙台管区気象台 5月19日発表）	268,321	▲ 2,889	▲ 1.1	265,432	269,400	105	
宮 城	同上（仙台管区気象台 5月19日発表）	344,906	▲ 3,714	▲ 1.1	341,193	348,400	103	
秋 田	同上（仙台管区気象台 5月19日発表）	413,092	▲ 4,448	▲ 1.1	408,644	419,400	103	
山 形	同上（仙台管区気象台 5月19日発表）	340,830	▲ 3,670	▲ 1.1	337,160	354,300	103	
福 島	同上（仙台管区気象台 5月19日発表）	335,933	▲ 3,617	▲ 1.1	332,316	342,600	101	
茨 城	・関東甲信地方の5月21日～6月20日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照 時間は平年並か少ない見込み。 （気象庁 5月19日発表）	333,776	▲ 3,594	▲ 1.1	330,182	345,400	96	
栃 木	同上（気象庁 5月19日発表）	295,508	▲ 3,182	▲ 1.1	292,326	287,300	98	
埼 玉	同上（気象庁 5月19日発表）	149,659	▲ 1,611	▲ 1.1	148,047	152,200	97	
千 葉	同上（気象庁 5月19日発表）	243,864	▲ 2,626	▲ 1.1	241,239	297,500	101	
新 潟	・北陸地方の5月21日～6月20日の1か月間は、期間のはじめは気温がかなり高く、向こう1か月の気温も 高い見込み。期間の前半は平年に比べ晴れの日が多く、向こう1か月の日照時間はほぼ平年並か多い 見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。 （新潟地方気象台 5月19日発表）	515,737	▲ 5,553	▲ 1.1	510,184	539,600	97	
富 山	同上（新潟地方気象台 5月19日発表）	183,672	▲ 1,978	▲ 1.1	181,695	191,200	103	
石 川	同上（新潟地方気象台 5月19日発表）	122,313	▲ 1,317	▲ 1.1	120,996	123,200	101	
福 井	同上（新潟地方気象台 5月19日発表）	124,124	▲ 1,336	▲ 1.1	122,787	123,800	99	
長 野	・関東甲信地方の5月21日～6月20日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照 時間は平年並か少ない見込み。 （気象庁 5月19日発表）	191,933	▲ 2,067	▲ 1.1	189,867	194,500	97	

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	・近畿地方の5月21日～6月20日の1か月間は、気温は高い見込み。太平洋側では期間の後半は低気圧や前線の影響を受けやすいため、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （大阪管区気象台 5月19日発表）	158,741	▲ 1,709	▲ 1.1	157,032	158,500	100
兵 庫	同上（大阪管区気象台 5月19日発表）	178,518	▲ 1,922	▲ 1.1	176,596	178,900	99
岡 山	・中国地方の5月21日～6月20日の1か月間は、1週目の気温は高く、2週目と3～4週目は平年並か高く、1か月を平均した気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （広島地方気象台 5月19日発表）	156,861	▲ 1,689	▲ 1.1	155,172	149,500	96
広 島	同上（広島地方気象台 5月19日発表）	128,585	▲ 1,385	▲ 1.1	127,201	121,700	96
山 口	・九州北部地方（山口県含む）の5月21日～6月20日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 5月19日発表）	107,601	▲ 1,159	▲ 1.1	106,443	100,700	97
愛 媛	・四国地方の5月21日～5月20日の1か月間は、気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （高松地方気象台 5月19日発表）	73,133	▲ 787	▲ 1.1	72,345	71,200	98
高 知	同上（高松地方気象台 5月19日発表）	49,537	▲ 533	▲ 1.1	49,003	52,800	96
福 岡	・九州北部地方（山口県含む）の5月21日～6月20日の1か月間は、暖かい空気に覆われやすく、気温は高い見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 5月19日発表）	180,526	▲ 1,944	▲ 1.1	178,582	172,300	95
熊 本	同上（福岡管区気象台 5月19日発表）	187,293	▲ 2,017	▲ 1.1	185,277	171,500	97
宮 崎	・九州南部地方の5月21日～6月20日の1か月間は、気温は平年並か高い見込み。降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 5月19日発表）	92,603	▲ 997	▲ 1.1	91,606	74,700	93
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 5月19日発表）	109,887	▲ 1,183	▲ 1.1	108,704	95,700	95

参考資料:

平成28年産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成27年産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成28年度病害虫発生予報第1号(農林水産省)

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道 5月20日)、農作物生育状況 5月15日現在(北海道空知総合振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道石狩振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道後志総合振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道胆振総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道日高振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道渡島総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道檜山振興局 5月20日)、
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道上川総合振興局 5月20日)、農作物生育状況調査の概要 5月15日現在(北海道留萌振興局 5月20日)
農作物の生育と農作業の進捗状況 5月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 5月20日)、
病害虫発生予察情報第1号5月予報(北海道病害虫防除所 4月27日)、
5月15日現在田植え進捗状況(青森県 5月17日)、稲作生産情報第3号(青森県 5月6日)、作況調査報告(青森県産業技術センター農林総合研究所 4月22日)、
平成28年度病害虫発生予報第2号(5月予報)(青森県病害虫防除所 4月27日)、
田植えの進捗状況(5月20日現在概況速報)について(岩手県中央農業改良普及センター県域普及グループ 5月20日)、
平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(岩手県病害虫防除所 4月27日)、
平成28年産水稲の田植進捗状況について(5月19日現在)(宮城県農林水産部 5月23日)、平成28年度発生予察情報発生予報第3号-水稲-(宮城県病害虫防除所 5月20日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 5月20日)、
平成28年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第1号(5月予報)(秋田県病害虫防除所 4月22日)、
つや姫だより第2号(庄内総合支庁農業技術普及課 5月22日)、おいしい米づくり情報第5号(村山総合支庁農業技術普及課 5月19日)、
おいしい米づくり情報第4号(村山総合支庁農業技術普及課 5月11日)、稲作だより第3号(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日)、
おきたま米づくり情報No.3(置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課 5月6日)、つや姫だより第1号(最上総合支庁農業技術普及課 4月22日)、
稲作だより第4号本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 5月17日)、平成28年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第2号(5月)(山形県病害虫防除所 4月27日)、
主要な農作物の生育情報平成28年度第2号(福島県農林水産部 5月12日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第1号(4月)(福島県病害虫防除所 4月26日)、
病害虫発生予報5月号(茨城県病害虫防除所 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、
平成28年度病害虫発生予報第1号(5月予報)(埼玉県病害虫防除所 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(千葉県病害虫防除所 5月12日)、
5月の技術対策(新潟県農林水産部 4月28日)、平成28年産「上越地域米」栽培技術情報No.2(上越農業普及指導センター 4月20日)、
平成28年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第2号(5月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 4月28日)、
病害虫発生予報第2号(富山県農林水産総合技術センター 5月2日)、
平成28年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-1号)(石川県農林総合研究センター 5月19日)、
病害虫発生予報第1号(石川県農林総合研究センター 4月21日)、
稲作情報No.2(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 4月24日)、平成28年農作物病害虫発生予報第3号(福井県農業試験場 5月2日)、
病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)、平成28年病害虫発生予報第2号(滋賀県病害虫防除所 4月19日)、
平成28年度兵庫県農業気象技術情報第1号(5月情報)について(兵庫県農政環境部 5月2日)、平成28年度病害虫発生予報第1号(兵庫県病害虫防除所 5月2日)、
平成28年度病害虫発生予報第2号(岡山県病害虫防除所 4月28日)、農作物病害虫発生予報5月(山口県病害虫防除所 5月2日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 5月6日)、病害虫発生予報(5月)(愛媛県病害虫防除所 4月28日)、
平成28年度における早期水稲の生育状況(5月10日時点)(高知県農業技術センター 5月12日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(5月)(高知県病害虫防除所 5月10日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 4月15日)、平成27年度病害虫発生予報第2号(5月予報)(熊本県病害虫防除所 4月28日)、
平成28年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報2号(鹿児島県病害虫防除所 4月27日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方气象台)